

# 海洋底拡大パラパラまんが

大阪教育大学地質学研究室

楠田涼葉・鏡畑 悠・多田善一・松田義輝・平岡連也

## 1. メッセージ

その昔、南アメリカ大陸とアフリカ大陸は、ひとつづきの陸地だったんだ。その大きな大陸が2つに割れて、おたがいにはなれていって今のようになったんだ。地図帳を広げて、南アメリカ大陸の東の海岸線の形とアフリカ大陸の西の海岸線の形をくらべてごらん。南アメリカの方はでっばっていて、アフリカの方はへこんでいるね。そして、その形がそっくりでしょ。試しに、地図帳をコピーして、南アメリカ大陸とアフリカ大陸を切り抜いて、くっつけてみて。形がぴったり合うよ。

それに気がついて、「南アメリカ大陸とアフリカ大陸は、その昔、ひとつづきの陸地だった。」と主張したのは、ドイツの地球物理学者であるアルフレッド・ウェゲナーです。かつて南アメリカ大陸とアフリカ大陸はくっついていて、というのは今ではみんなが信じていますが、当時は、陸地が動くなどと考える人はいなかったために、このウェゲナーの“大陸移動説”を信じる人はほとんどいませんでした。南アメリカ大陸とアフリカ大陸の間には大西洋と呼ばれる海が広がっていますが、その大西洋の真ん中には南北に連なる“中央海嶺”と呼ばれる海底大山脈があります。その中央海嶺で海底が生まれて、大西洋は今でも東と西に広がりつつあって、南アメリカ大陸とアフリカ大陸は1年に数cmずつはなれていっているんだよ。

その様子をパラパラまんがをつくって調べてね。

## 2. 作り方

紙に描かれたそれぞれの時代の地図をハサミで切ってください。それを順番に重ねて、右側を少しずらして、左側をホチキスでとめてできあがり。

## 3. 問い合わせ先

廣木義久（大阪教育大学地質学研究室）

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

TEL: 072-978-3386, E-mail: hiroki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp